

日本共産党 八千代市議団ニュース

2022年6月号 日本共産党八千代市議団 市役所控室 ☎483-1151
堀口明子 ☎047-752-0453 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

6月定例会市議会が、5月31日（火）～6月24日（金）の日程で行われます。

——日本共産党の質問日程・質問事項——

日程は予定です。早まる場合がありますので、議会事務局（483-1151）にお問い合わせ下さい。議会への傍聴をお待ちしています。

●堀口明子議員（代表質問）

6月7日（火）PM2:15頃

1. 緊急経済対策

- ①所得200万円以下の世帯へ10万円給付を
- ②八千代市中小企業者等経営支援金の再支給
- ③子育て世帯対策
(1)給食費の軽減
(2)国民健康保険の子どもの均等割を廃止



2. 学校・教育環境の整備

- ①就学援助制度の中学校入学準備金の12月支給実施へ
- ②副読本や算数セットなど、学校で準備する取組を
- ③自校給食校を残すべき

3. 八千代医療センターの在り方

- ①診療科削減による市民への影響について市の見解を問う
- ②協定内容について

4. 補聴器助成の創設

- ①県内3自治体、全国50自治体での実施について八千代市の見解は
- ②耐用年数5年、再度申請可能の自治体も

5. 地域猫活動

UR団地での取組に市の協力を

●飯川英樹議員（個別質問）

6月8日（水）PM2:00頃

1. 八千代市をもっと住みたいまちにするために

- ①八千代市を住みたいまちにするための施策
(1)市外から新しい住民を呼び込むための施策は
(2)少子高齢化対策
(3)第5次総合計画との関連
- ②緑が丘西地区のまちづくりと学校問題
(1)現在の地区人口
(2)計画人口へ向けた市の見通し
(3)西高津小学校へ通う子どもたちの問題
(4)中学校設置の必要性について
(5)現在の中学校学区はどうなるか
(6)本来予定されていた学校予定地は
- ③高津団地の買物問題と住環境
(1)買物問題に対するURの対応は
(2)住環境として買物場所は重要である
- ④米本団地の学校とコミュニティー
(1)結婚新生活支援事業について
(2)5年前と比較した児童数の変遷

- (3)米本団地に小学校は必須
2. 東葉高速鉄道の高すぎる運賃問題
①市の対応はどうなっているのか
②市民の声に対する市の考え
3. 少年自然の家は存続すべき
①廃止の方針に至る経緯について
②使用していない間の維持費について
③地域住民や利用者の声は聞いているのか
④少年自然の家は存続すべき

●伊原 忠議員（個別質問）

6月9日（木）AM10:00

1. 公共交通について

- ①市の公共交通の課題と方向性は
- ②具体的な提案は
- ③デマンド方式やライドシェア方式に

2. 教員の未配置校問題

- ①未配置校の状況
- ②未配置校があることをどう認識しているか
- ③年間を通じて事故対策教員を確保すべきと考える

3. 阿蘇米本学園について

- ①前期課程の5、6年生の授業時間を50分にする理由は
- ②「小6問題」の解決のための対策は

4. 生徒のための校則を

- ①校則の内容は保護者、子どもに周知されているのか
- ②校則の見直しは
- ③子どもの権利条約を生かして

5. ジェンダー平等を

- ①男女混合名簿について
- ②奨励服にジェンダー平等を

●植田 進議員（個別質問）

6月10日（金）PM1:00頃

1. 市庁舎建て替えに関するパブリックコメント

- ①防災拠点としての機能
- ②事業手法
- ③省エネ
- ④事業費と財源
- ⑤公共施設等総合管理計画との整合性
- ⑥市民説明会の開催を



2. インボイス制度

- ①導入の目的
- ②市の対応（担当部署）
- ③シルバー人材センターの取り扱い
- ④国に中止・延期を求めよ

3. 市民の森、子どもの森の保全

- ①これまでの買収実績と今後の計画
- ②活用に向けた施策
- ③市民の森等のトイレの整備

4. 町会、自治会活動の活性化

- ①市民組織交付金制度
- ②町会、自治会の現状

おもな議会日程

- ◇開会
5月31日（火）
- ◇議会運営会
6月2日（木）・6月22日（水）
- ◇一般質問
6月7日（火）～10日（金）
- ◇各常任委員会
6月14日（火）・15日（水）
- ◇総括審議
6月24日（金）